

都島区高齢者地域包括ケアシステム推進会議 議事要旨

日 時：令和4年3月17日(木) 14時00分～15時30分

場 所：都島区役所 第5・6会議室

出席者：名簿のとおり

議 事

1. 今年度の検討課題について

- ・ 作業部会の実施報告 … 資料1参照
- ・ 医師による精神保健福祉相談の説明 … 資料2参照

2. 今年度の検討課題についての意見交換（委員からの主な意見）

- ・ 作業部会メンバーに感謝したい。ただ、問題の所在がやや漠然としている印象も受けた。
- ・ 例えば、コスト面の問題は、具体的に費用がどこに必要なのか。個々の症例による「支援チーム」を立ち上げることについては、いろんな人への負担やチーム構成等の具体的な検証も必要。
- ・ 医師は治療が仕事であり、作業部会で検討していく中で、取っ掛かりが本当に医師でないといけなないのかも検討して欲しい。
- ・ 問題意識として、まず、利用者が窓口がどこか分からない。区民にとって、訪看・包括・オレンジなど、相談先が分かりにくく、どこに最初にいけばいいのか分からない。区役所に「医師による精神保健福祉相談」があることを、ほとんどの人は知らない。仕組み作りをしても、だれに相談をしにくか分かりにくいのは問題…。
- ・ 精神保健福祉相談の周知の際には、具体的にどんな相談に乗っているか、うまく利用できた事例の具体的な内容も周知の際に示して欲しい。
- ・ 「医師による精神保健福祉相談」の使いにくさや、各区に精神保健福祉相談員が1人しかいないという体制の問題についても、改善にむけて提言し続けることが大事ではないか。
- ・ 支援者が困った時にサポートできる窓口があれば、1人で抱え込まず相談しやすくなり、対象者にあった支援ができるようになる。「支援者を支援するチーム作り」の検討も引き続き進めて欲しい。
- ・ 支援者を支援するチームを作っても、窓口の周知がされないと利用しにくいいため、どこに相談したらいいかの周知も検討が必要。
- ・ 複合課題には多職種連携が必ずあり、相互理解がとても大事な問題のため、「専門職を支援するチーム作り」が必要と感じる。
- ・ もし、「精神科医を含むチーム」が訪問しても、拒否されるかもしれないが、精神科医が診ると精神疾患の部分が大きいなど分かる事もあるのではないか。
- ・ 「繋げていく」には、(これは理想ではあり、難しいことは理解するが)、行政として365日24時間連携できるシステムが希望。
- ・ 救急要請時に、外傷のみでなく、内面の情報も教えてもらえると心身ともにあった搬送連絡ができるため、既往歴等などの情報提供をしてもらえると有難い。

3. 高齢者に関する都島区の課題の共有 … 資料3参照

4. 高齢者に関する都島区の課題の共有に対する意見交換 … 特になし

5. 次回の手定 … 令和4年9月に開催手定。資料のとおり、作業部会の検討結果を報告手定。